

備前市事務事業評価表

事務事業名	市長会事業		コード	担当課係	総務課 秘書係
			06-01-13-02	担当者	山台 智子
事業実施期間	昭和46年4月1日～		電話	0869(64)1800	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	秘書			

事業について	
目的	都市に関する諸般の事項を調査研究し、都市行政の向上を期するとともに、相互の連絡親善を図ること
対象(誰のために)	市政に関するすべての人、機関、団体
内容	全国市長会及び同中国支部、岡山県市長会による、行政・財政に関する調査研究、研修会・講習会の開催、国・県等への要望

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
岡山県市長出席	5回		
岡山県助役会出席	3回		
国への要望	4回		
県への要望	7回		
県議会への要望	3回		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,534	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,608	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,142	市債	4,142	合計	0	市債	0

必要人員	0.18人	
結果指標①	結果指標名	市長会・助役会出席回数
	結果指標量	市長会議 5 助役会議 3
	単位	回
	対前年比	—
	事業費	414,200円
	単位当たりコスト①	51,775円

結果指標②	結果指標名	国への要望件数
	結果指標量	44
	単位	回
	対前年比	—
	事業費	828,400円
	単位当たりコスト②	18,827円

事業の成果			
成果指標名	要望回答率	式又は説明	要望先からの回答率
	17年度		
成果指標量	100%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	なし(100%の維持)

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：岡山県市長会会則	課題認識 地方六団体の一角をなすものであり、全国的な組織である。目的・対象とも妥当である。
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	直接事業費である負担金については、事業主体である岡山県市長会事務局に対して、各市長より経費の削減の要望を重ねており、減少傾向が認められる。
有効性の評価	目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある 市民参画度 <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	要望について、各要望先から回答を得ており行政運営の参考となっている。要望が採択され実現することが理想であるが、現状においても有効性を認められる。

総合評価	目的・対象は妥当であり、効率性についても、単位当たりコストの減少が認められる。主たる経費である直接事業費(負担金)については、市長会との調整が必要であるが、見直しも検討するべきである。	評価区分 <A~E> B
------	--	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 市長会4回、助役会2回	結果指標量② 50件程度
目標値	成果指標量 要望回答率100%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	負担金の減額(市長会に要望)	平成18年度～	事業費の減、効率性の向上